**第２回大阪府アドプト・プログラムのあり方懇話会　議事概要**

（日　 　時） 平成29年2月14日

（場　 　所） 府庁本館５階　正庁の間

（出席委員） 河井　孝仁（東海大学文学部広報メディア学科・教授）

塩山　諒（NPO法人スマイルスタイル・代表理事）

藤原　明（りそな総合研究所株式会社リーナルビジネス・部長）

（議事概要） 〇参加総量を増やすには

　 　　　　　　　　　　 ・行政ができること、できないことをしっかり示せば、参加者が関わりやすくなる

〇情報のオープン化について

　 ・個別の課題を提示し、法律に基づきできること、できないことを示す必要がある

　 ・ＦＡＱづくりが必要

　・情報提供のターゲティングが必要

〇プラットフォームづくりについて

　・プラットフォームづくりが必要

　・情報を公開する場を作る事もプラットフォーム

〇モチベーションづくりについて

　・関わり方を明確にすることがモチベーションの向上に繋がる

　・職員のモチベーション向上も必要

　 ・府民の満足度をアンケートすることも有効

〇行政関与について

　・行政の役割は制度設計や情報を広く周知し、参加してもらえる仕組みづくりが重要

　 ・行政職員の仕事をできるだけ減らす視点が必要